

# 令和5年度 流山市立東小学校学校評価アンケートの結果について

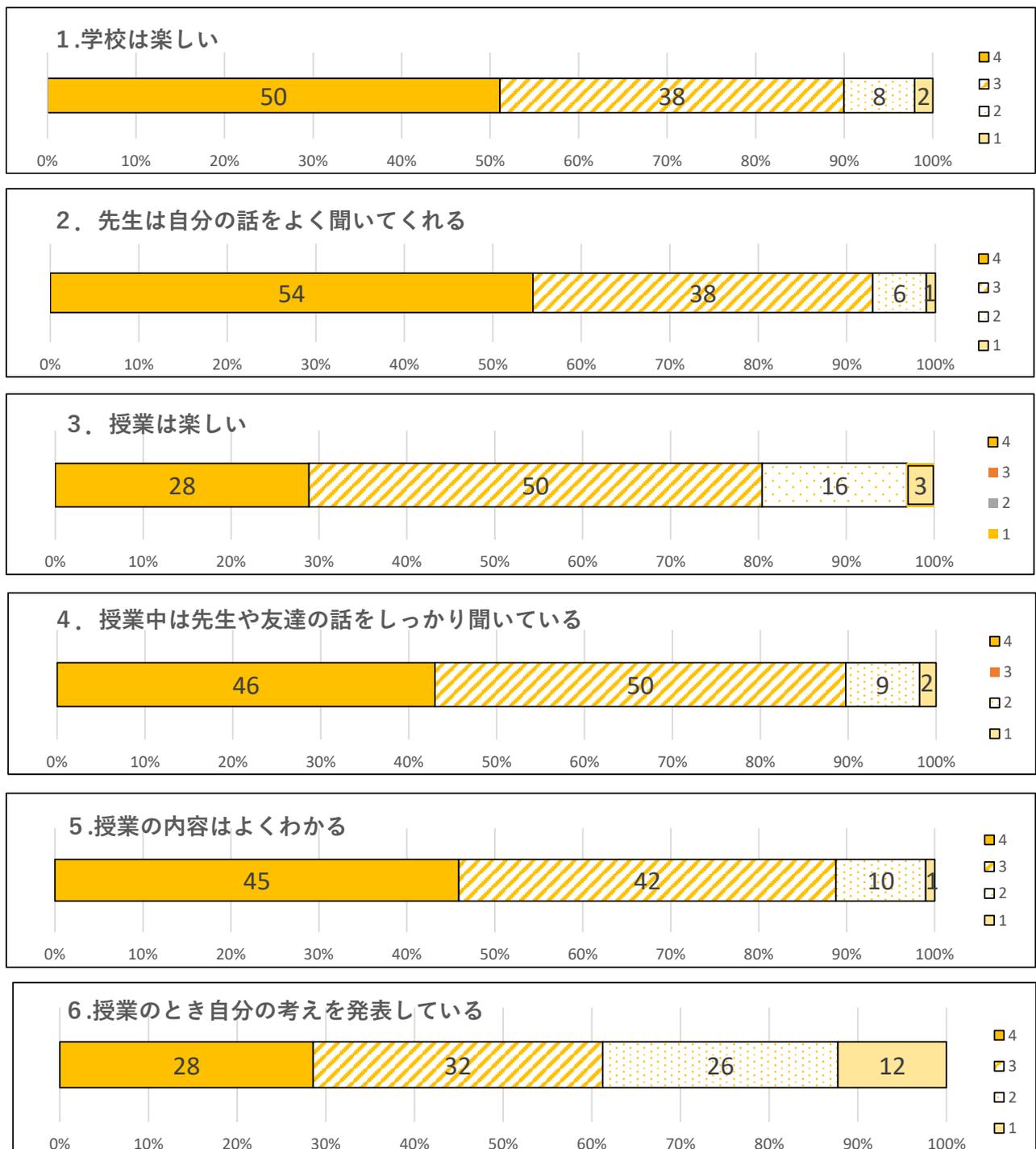
令和6年2月吉日  
井上 司

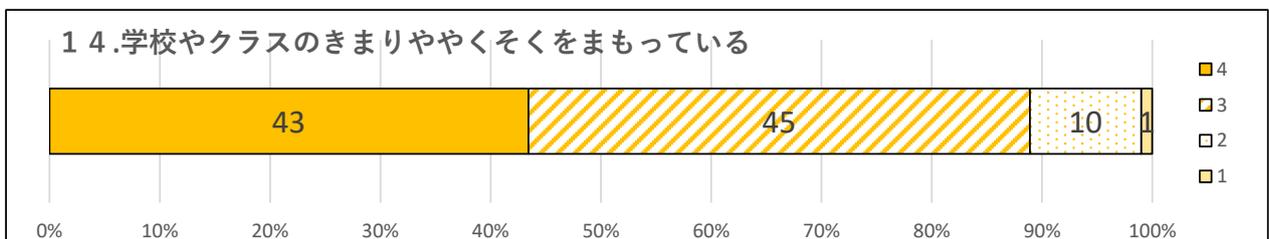
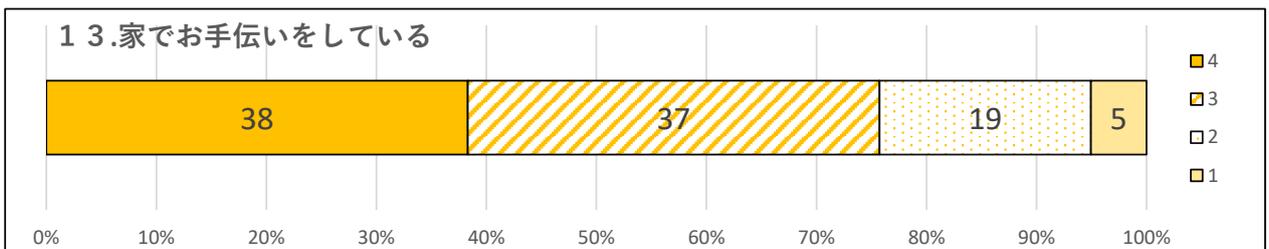
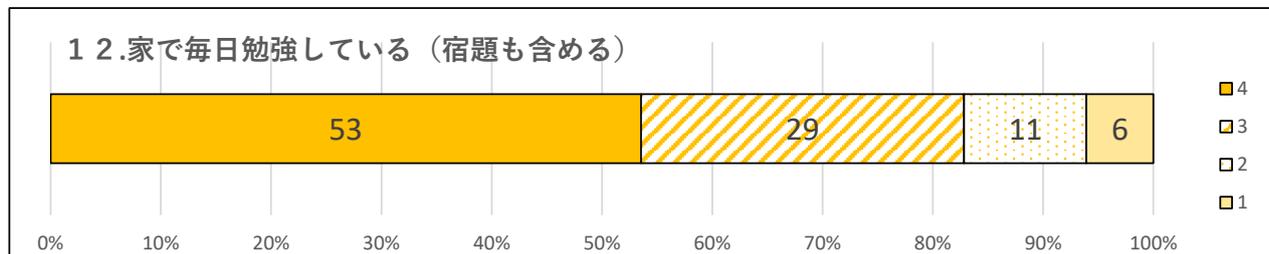
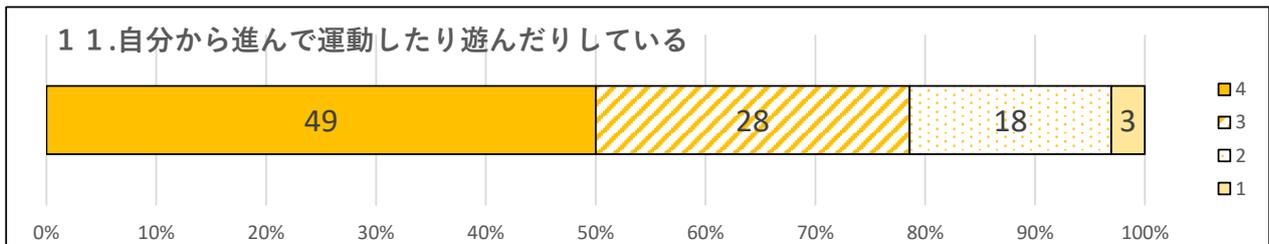
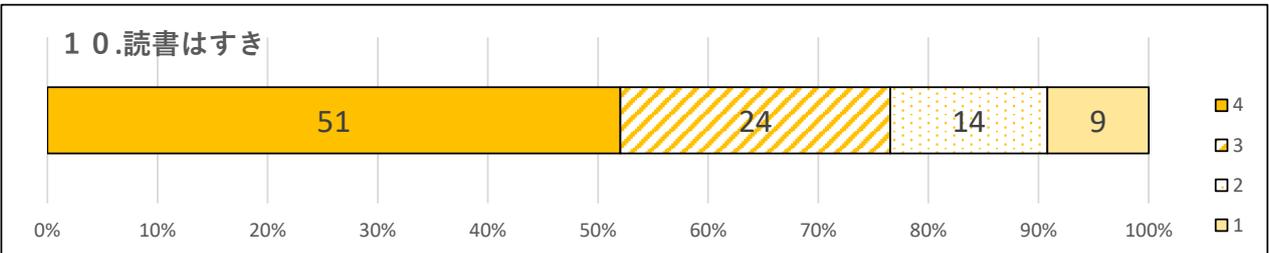
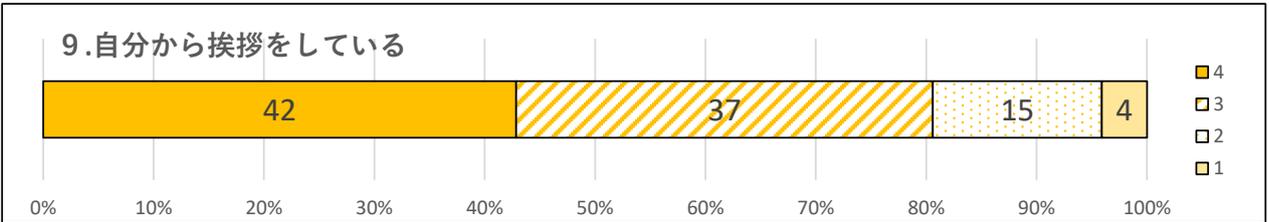
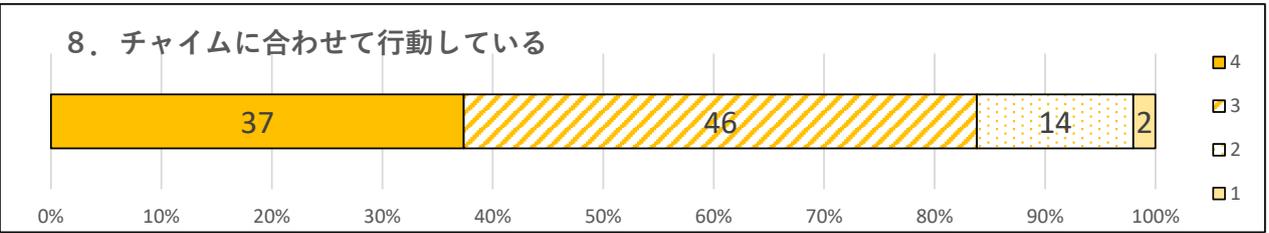
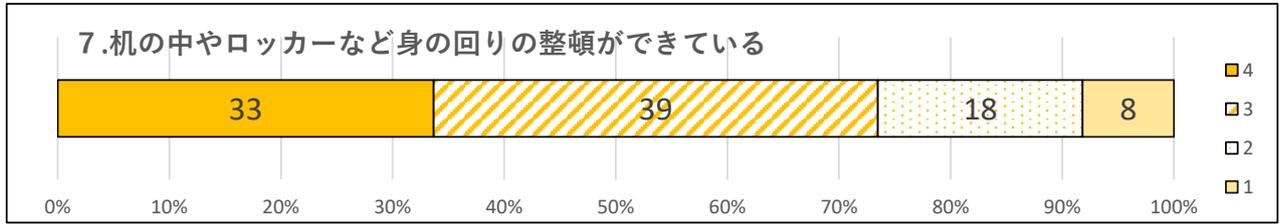
令和5年12月に実施した「学校評価アンケート」「学校生活アンケート」の結果は次のとおりです。アンケートにご協力いただきありがとうございました。調査の結果を踏まえ、今後の学校教育目標達成に向け、教職員一丸となって地域や家庭に開かれた教育活動を進めてまいります。尚、回答率は、児童95%、保護者52%、職員100%でした。

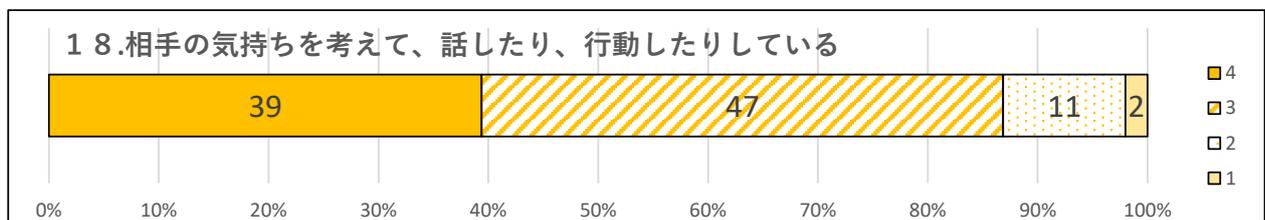
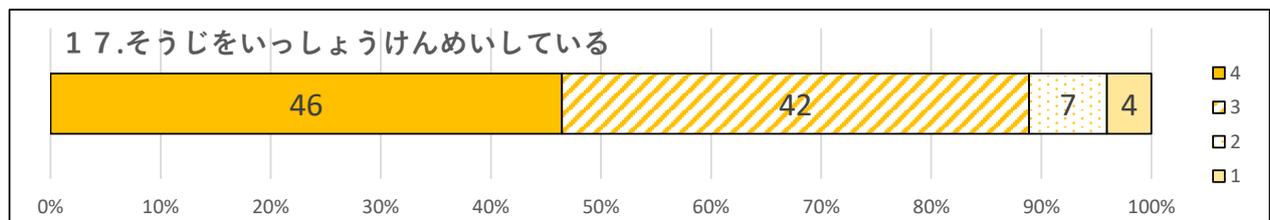
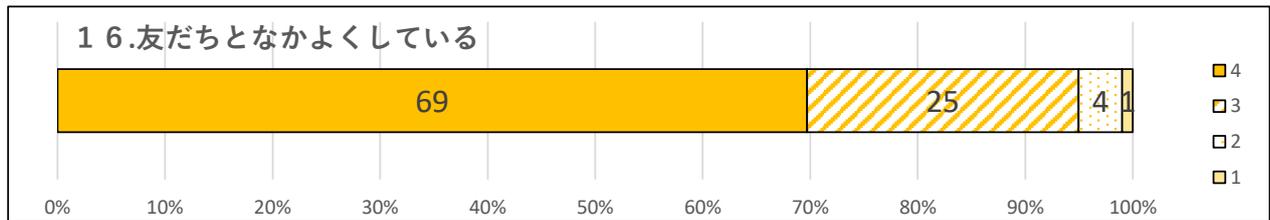
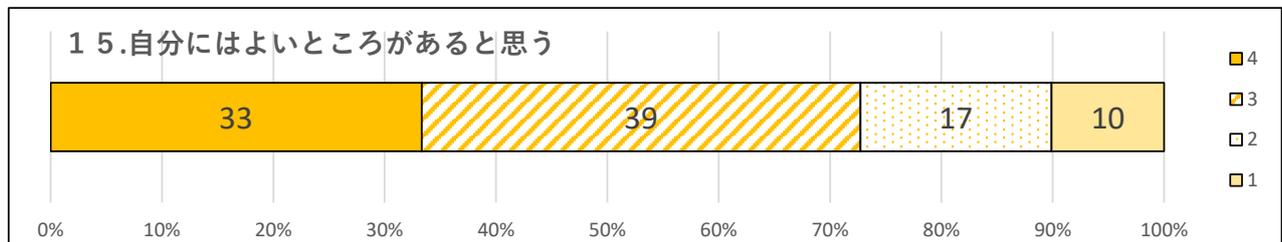
※それぞれの項目を割合で表示しています。

4) とてもそう思う 3) そう思う 2) そう思わない 1) まったくそう思わない

## 1 児童アンケート (1) アンケート集計結果







## (2) 児童用学校生活アンケートにおける肯定的回答の推移 (過去4年間)

※「とてもそう思う」「そう思う」の合計のパーセントとなっています。

	項目	R2	R3	R4	R5
1	学校は楽しいですか。	89%	89%	88%	89%
2	先生は自分の話をよく聞いてくれますか。	93%	96%	90%	92%
3	授業は、楽しいですか。※R5新項目				83%
4	授業中は、先生や友だちの話をしっかり聞いていますか。	93%	94%	90%	89%
5	授業の内容はよくわかりますか。	88%	91%	86%	88%
6	授業のとき、自分の考えを発表していますか。	66%	59%	60%	61%
7	机の中やロッカーなど、身のまわりの整頓ができていますか。	80%	79%	73%	74%
8	チャイムにあわせて行動していますか。	88%	88%	83%	84%
9	自分から、あいさつをしていますか。	88%	83%	85%	80%
10	読書は好きですか。	80%	78%	76%	75%
11	自分から進んで遊んだり、運動したりしていますか。	86%	83%	81%	78%
12	家で毎日、勉強していますか。(宿題もふくみます。)	92%	93%	84%	83%
13	家でお手伝いをしていますか。	77%	82%	73%	76%
14	学校やクラスのきまりややくそくをまもっていますか。	91%	94%	88%	89%
15	自分にはよいところがあると思いますか。	73%	74%	72%	73%
16	友だちとなかよくしていますか。	95%	96%	95%	94%
17	そうじをいっしょけんめいしていますか。	95%	93%	88%	89%
18	相手の気持ちを考えて、話したり、行動したりしていますか。	85%	88%	85%	86%

### (3) 児童の評価について

【項目1 学校は楽しいですか】の問いに約9割近くの児童が楽しい、【項目16 友だちとなかよくしていますか】の問いには9割以上の児童が仲よくしていると回答しています。この結果は、今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、制限前の教育活動ができるようになり、様々な学習活動を展開してきたことの現われであると分析します。中でも、4年ぶりに全校一斉に実施した運動会は、心を一つにした感動体験となりました。この学校行事により学年の壁を超えた縦のつながりを強くしました。その後の下級生が上級生を羨望の眼差しで見える姿、上級生が下級生をかわいがる姿に、本校の本来の良さを感じることができました。2月に入り、「卒業プロジェクト」と銘打ち6年生が、下級生に都道府県の歌を教えに行ったり、縄跳びの跳び方を教えにいたりすることによって、共に過ごす時間を作り、さらに絆を深め、東っ子の伝統をつないでいます。

課題としては、学習に関する質問項目【項目6 授業のとき、自分の考えを発表していますか】の問いにおいて、考えを発表できると回答する児童は、昨年度までとほぼ同様に約6割程度に留まっています。偏りなく全学年通して同様の結果となり、コロナ禍の生活スタイルが、少なからず影響していると思われます。来年度は、発表する楽しさを味わわせる授業構成、教師の発問の工夫、友達の考えを聞く態度・気持ちへのアプローチを考えながら、具体的な指導を行っていきます。

児童自身に関する質問項目【項目16 自分にはよいところがあると思いますか。】でも、残念ながら昨年度までと同様に低い値で推移しています。自尊感情を高めるに、「褒める」「認める」「励ます」ことを全職員はもちろんのこと、児童同士、保護者、地域の方にも協力を得て、一人一人に関わっていくことができるよう努めていきます。

